

日本認知科学会第35回大会のご案内（第1号通信）

日 程：2018年8月30日（木）～9月1日（土）

【参考 日本認知心理学会第16回大会：
9月1日（土）～2日（日）】

場 所：立命館大学大阪いばらきキャンパス
（大阪府茨木市岩倉町2-150）

大会 Web ページ：

<http://www.jcss.gr.jp/meetings/jcss2018/>

名誉大会委員長：佐藤隆夫（立命館大学）

大会委員長：服部雅史（立命館大学）

実行委員長：大石衡聴（立命館大学）

プログラム委員長：林勇吾（立命館大学）

重要な日程：

- ・ OS 提案締切：2018年1月5日（金）
- ・ OS 採否通知：2018年2月1日（木）
- ・ 発表申込締切：2018年4月13日（金）
- ・ 論文集原稿提出締切：2018年6月29日（金）
- ・ 参加早期登録期限：2018年7月13日（金）

1. 大会委員長挨拶

認知科学という学問領域が生まれてから60年あまりが経過しました。日本認知科学会も、創立から35年になろうとしています。この間、認知科学は、関連する学問領域からさまざまなアイデアを取り込みながら拡張し、ゆっくりと、しかし大きく変貌してきました。認知科学は、これからもワクワクする学問領域たりうるのでしょうか。本大会は、「認知研究の対話と展開」をテーマとして、日本認知心理学会と一部会期を重ねて開催します。本当の意味で学際的で、熱気にあふれていた認知科学の原点に立ち返りつつ、これからの認知研究の夢を語り合える場になることを願っています。多くのの方々、特に若手研究者の参加をお待ちしています。

2. 例年からの主な変更点

以下の点が例年と異なるのでご注意ください。

- ・ 日本認知心理学会との連携：日本認知心理学会第16回大会と会期の一部を重ねて開催し、共同企画も用意

します。会期の重なる日は、一方の大会への参加者が他方の大会へも参加できます。両大会に参加する場合は、参加費の大幅な割引があります。

- ・ 学部学生参加費：学部学生の大会参加費を無料にします。
- ・ 懇親会：日本認知心理学会と合同の懇親会を開催します。
- ・ 大会発表賞対象者：従来、生年に基づく条件を設定していましたが、今大会より、生年の条件を満たさなくても学生会員であれば対象者とします。
- ・ オーガナイズドセッション（OS）の提案：OS提案時に提出するプロポーザルには、発表者の構成と時間配分を含む詳細な情報を提示してください。OSならではの特微的な発表形態を歓迎しますが、そういった非典型的発表の公募方法はオーガナイザーに任せられますので、募集要領をプロポーザルに明記してください。

3. 大会発表要領

3.1. 発表資格

一般セッションおよびOSでの発表（一般セッションに準ずる形態の場合）のためには、論文執筆者のうちの少なくとも一人が、日本認知科学会の正会員または学生会員である（あるいは、発表申込締切日までに入会手続きをすませる）ことが必要です。また、OSのオーガナイザー（複数の場合は筆頭者）も、日本認知科学会の会員である（あるいは、発表申込締切日までに入会手続きをすませる）ことが必要です。

3.2. OSのオーガナイズ

第32回大会より始まったオーガナイズドセッション（OS）は、好評につき本大会でも開催します。ただ、近年は、招待講演数件+口頭発表数件という形態が多くなりつつあります。並行セッション化した準一般セッションの集まりのようにならないよう、改めて斬新な形式のセッションの提案を促したいと思います。2.5時間の時間枠（固定）を使って、パネル・ディスカッションやクロス・トーク、ワークショップ、チュートリアル、その他、自由に企画してください。

なお、OSの中で口頭・ポスター発表を公募する場合は、一般セッションの口頭発表（質疑応答込みで20分程度の時間枠）やポスター発表（2時間程度の時間枠）に準じる発表時間枠を用意してください。

OSのオーガナイズを希望する場合は、詳細なプロポーザルを提出してください。プロポーザルは、企画の意義が専門領域の異なる人にも理解できるようにわかりやすく書いてください。プロポーザルの分量や形式は自由ですが、以下の内容を含むようにしてください。

- ・タイトル
- ・企画趣旨
- ・企画概要
- ・発表者の構成（招待予定者の人数と氏名、公募発表者の人数を含む）
- ・時間枠（2.5h）の中のタイムスケジュール
- ・その他アピールする点（内容や企画の新奇性、OSとしての意義、研究交流促進など）

提案は、最終的に10件程度に絞り込む可能性があります。採否の審査基準は、企画の新奇性、（一般セッションではなく）OSとして企画することの意義、さらに今大会は認知心理学会との連携を狙いの一つにしていることから、そういった研究交流の観点も考慮します。プロポーザルの採否の判断は、プログラム委員会が行います。その際には、会場や時間枠の外的制約以外に、企画の意義、新奇性、具体性、研究交流促進の4つの観点を考慮します。

3.3. 発表カテゴリと申込方法

発表カテゴリは、口頭発表、ポスター発表、OSでの発表の3種類があります。発表言語は、いずれも原則として日本語または英語とします。

a) 口頭発表・ポスター発表（一般セッション）

申し込み時はアブストラクトのみの受け付けとし、プログラム委員会で採否を決定します。発表を希望する場合は、2000字程度の日本語（または、750words程度の英語）のアブストラクトを提出してください（現在進行中の研究については、1000字程度のものも受け付けます）。図・表、文献リストは字数にカウントしません。発表希望形態として、「口頭」「ポスター」「どちらでもよい」のいずれかを選んで申請してください。いずれになるかの決定は、プログラム委員会にご一任下さい。査読の結果、OSへの移行をご相談することがあります。

b) OSでの発表

大会webページのOSのプロポーザルを読んでOSの企画趣旨に賛同し、OS公募発表への応募を希望する場合は、一般セッションと同様に大会webページ経由でアブストラクトを提出し、提出時に希望セッションを申請してください。プログラム委員会とOSオーガナイザーが採否を決定します。査読の結果、一般セッションへの移行をお願いすることがありますが、ご了解ください。

OSでの特殊な発表形態の公募発表（一般的な口頭・ポスター発表以外のもの）については、大会webページの該当OSのプロポーザルに指示されている方法に従って申し込みしてください。

3.4. 論文集原稿

発表が採択された場合は、仕上がり10ページ以内の発表論文集用完成原稿と、パンフレット用の200字の要旨を書いていただきます。原稿は、大会webページよりご投稿ください。フォーマットはサンプルに従ってください。WordとLaTeXのサンプルが用意されます。

分量の上限は10ページですが、必要以上に分量を増やすことを推奨するものではありません。図表等を有効に活用しながら明瞭・簡潔な原稿を執筆するよう心がけてください。

なお、発表論文集は、紙媒体ではなく電子ファイルの形で配布し、大会と同時に一般公開される予定ですのでご承知おきください。

4. 参加要領

4.1. 参加資格

認知科学またはその関連分野に関心のある人は、誰でも参加できます。本大会に参加申込すると、後続して（9月1日～2日）開催される日本認知心理学会第16回大会（JSCP2018）への参加費の優遇措置がありますので、是非ご参加ください。

4.2. 参加申込方法と参加費

大会webページよりお申し込みください。日本認知心理学会大会のみに参加できる「シングル」チケット、または、日本認知心理学会大会にも参加できる「コンボ」チケットのいずれかをご購入ください。なお、相乗り日（9/1）は、シングル・チケットで両学会に参加できます。

コンボ・チケットを購入される場合、両学会とも会員の方や両学会とも非会員の方は、どちらの学会のページから参加申込されても構いません。ただし、いずれか一

方の学会でのみ発表する場合は、発表予定の学会ページから申し込みしてください。

一方の学会のみ会員の方は、必ず会員の学会の大会ホームページから参加申込してください（非会員学会側から参加申込すると、非会員価格が適用されます）。

大会参加費（チケット代）は以下の通りです。

大会参加費 (円)	〈会員〉				
	一般		学生		
チケット別	シングル	コンボ	シングル	コンボ	
早期登録	6,000	9,000	3,000	3,000	
通常登録	7,000	10,000	4,000	4,000	

大会参加費 (円)	〈非会員〉				
	一般		院生		学部生
チケット別	シングル	コンボ	シングル	コンボ	—
早期登録	9,000	14,000	4,000	4,000	0
通常登録	10,000	15,000	5,000	5,000	0

注) シングル・チケットの購入後にコンボ・チケットに変更することもできますが、その場合は、差額分に加えて変更手数料1,000円を申し受けます。

5. 査読

発表申し込みの抽象トクトは、最低2名の査読者によって査読されます。査読者からのコメントを参考に、プログラム委員会は採否を決定して申請者に結果を連絡します。発表全体のバランスを考えて、希望以外のカテゴリ（口頭発表・ポスター発表・OS）での発表をお願い

いすることがあります。

抽象トクトの査読者を広く公募いたします。2018年3月2日（金）までに、氏名、査読連絡用メールアドレス、査読可能分野、査読可能本数、査読経験（対象と年数、査読経験のない方は研究略歴）を以下のページ（準備中）からご登録ください。

<http://www.jcss.gr.jp/meetings/jcss2018/reviewer/>

6. 大会発表賞

すぐれた若手発表者に対して大会発表賞を授与します。以下のすべての条件を満たす者が大会発表賞の対象者になります。

- 条件1：本学会会員（正会員・学生会員）である。
- 条件2：生年が1985年以降であるか、または学生会員である。
- 条件3：所定の大会発表手続きが済んでいる。
- 条件4：第1著者である。

大会発表賞の選考対象になることを希望される方は、参加申し込み時に生年の登録をしてください。

7. 問い合わせ先

大会運営一般について：

jcss2018@jcss.gr.jp

大会発表、査読、プログラムについて：

jcss2018-pc@jcss.gr.jp